2018	H30	第 26 回 あマ指国家試験

（あマ指 26）医療概論	1～3

あ 26-1 介護保険制度について正しいのはどれか。

1. 被保険者は 75 歳以上である。
2. 介護保険料は全国一律である。
3. 地域包括支援センターは二次医療圏ごとに設置される。
4. 要介護認定の申請は市町村および特別区に対して行う。

あ 26-2 緩和医療について正しいのはどれか。

1. 医師以外の医療者は関与しない。
2. 延命が目的である。
3. 心理的苦痛は対象である。
4. 末期がん患者以外には適応しない。

あ 26-3 患者の自己決定権とともに「患者の権利宣言」の基軸となっているのはどれか。

1. バイオエシックス
2. インフオームド・コンセント
3. QOL
4. ターミナルケア

（あマ指 26）衛生学公衆衛生学	4～11

あ 26-4 二次予防はどれか。

1. がん検診
2. 予防接種
3. 難病患者への生活支援
4. 緩和ケア

あ 26-5 産業衛生管理のうち作業管理はどれか。

1. 作業場の換気
2. 健康診断の実施
3. 労働時間の短縮
4. 作業の遠隔化

あ 26-6 水俣病の原因はどれか。

1. カドミウム
2. 有機水銀
3. 鉛
4. ヒ　素

あ 26-7 二国間の国際協力を推進する機関はどれか。

1. ILO
2. JICA
3. UNICEF
4. WHO

あ 26-8 プライマリ・ヘルス・ケアの概念に含まれるのはどれか。

1. 抗がん剤の普及
2. 再生医療の推進
3. ワクチンの製造
4. 健康教育の推奨

あ 26-9 メタボリックシンドロームの診断基準に含まれるのはどれか。

1. 体脂肪率
2. 心電図
3. 骨密度
4. 血糖値

あ 26-10 コホート研究について正しいのはどれか。

1. がんは対象にならない。
2. 集団は対象にならない。
3. 追跡調査が必要である。
4. 国勢調査で行われる。

あ 26-11 健康増進の考え方を提示したのはどれか。

1. アルマ・アダ宣言
2. ジュネーブ宣言
3. オタワ憲章
4. WHO 憲章

（あマ指 26）関係法規	12～15

あ 26-12 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で、あん摩マッサージ指圧師免許の消極的要件に該当するのはどれか。

1. 懲役刑を受けた。
2. 文部科学大臣の認定した学校を卒業した。
3. あん摩マッサージ指圧師国家試験に合格した。
4. 交通違反で反則金を支払った。

あ 26-13 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で、施術者が本籍地の都道府県を変更したときにしなければならないのはどれか。

1. 再免許の申請
2. 免許証の書換え交付申請
3. 免許証の再交付申請
4. 名簿登録事項の訂正申請

あ 26-14 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で、あん摩マッサージ指圧師ができるのはどれか。

1. 応急処置としての脱臼の整復
2. 医師の指示による外科手術の補助
3. 薬剤師が調合した薬の投与
4. 医師の同意を得た骨折患部への施術

あ 26-15 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律で、施術所の衛生上必要な要件でないのはどれか。

1. 常に清潔に保つ。
2. 快適な温度・湿度を保つ。
3. 換気を充分にする。
4. 採光・照明を充分にする。

（あマ指 26）解剖学	16～26

あ 26-16 寛骨について正しいのはどれか。

1. 耳状面は腸骨の内側にある。
2. 恥骨結節は恥骨体の下方にある。
3. 坐骨棘に大腿骨頭靭帯が付着する。
4. 下前腸骨棘に鼠径靭帯が付着する。

あ 26-17 脳神経と通過する部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 視神経 ――― 上眼窩裂
2. 下顎神経 ―― 正円孔
3. 顔面神経 ―― 内耳孔
4. 舌下神経 ―― 頸静脈孔

あ 26-18 筋と補助装置の組合せで正しいのはどれか。

1. 下斜筋 ――― 滑　車
2. 三角筋 ――― 滑液包
3. 長掌筋 ――― 腱　鞘
4. 下腿三頭筋 ―― 骨間膜

あ 26-19 下肢帯の筋と支配神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 大殿筋 ―――― 下殿神経
2. 梨状筋 ―――― 上殿神経
3. 腸骨筋 ―――― 閉鎖神経
4. 大腿方形筋 ―― 大腿神経

あ 26-20 内頚動脈の枝はどれか。

1. 顎動脈
2. 眼動脈
3. 舌動脈
4. 椎骨動脈

あ 26-21 胸管について正しいのはどれか。

1. 乳び槽から続く。
2. 大静脈孔を通過する。
3. 右上半身のリンパが集まる。
4. 右静脈角に注ぐ。

あ 26-22 胃について正しいのはどれか。

1. 噴門には括約筋がある。
2. 小弯は肝臓に接する。
3. 大弯には大網が付着する。
4. 最内層の筋は輪走筋である。

あ 26-23 腎臓について正しいのはどれか。

1. 腎皮質の突出は腎乳頭をつくる。
2. 糸球体は毛細血管が集まったものである。
3. 尿細管と集合管を合わせてネフロンという。
4. 傍糸球体細胞からエリスロポエチンが分泌される。

あ 26-24 交感神経節前ニューロンの細胞体があるのはどれか。

1. 前　角
2. 側　角
3. 側　索
4. 後　索

あ 26-25 皮膚領域と皮膚分節の組合せで正しいのはどれか。

1. 鎖　骨 ―――― C2
2. 上腕内側 ――― Th1
3. 臍 ―――――― Th6
4. 腸骨稜 ―――― S2

あ 26-26 嗅上皮の存在部位はどれか。

1. 鼻腔天井
2. 中鼻甲介
3. 鼻前庭
4. キーゼルバッハ部位

（あマ指 26）生理学	27～37

あ 26-27 核酸について正しいのはどれか。

1. RNA は二重らせん構造である。
2. RNA 分子は DNA 分子より大きい。
3. DNA は凝集して染色体を形成する。
4. 伝令 RNA はアミノ酸をリボソーム上に運ぶ。

あ 26-28 心臓の 1 回拍出量を増やす因子はどれか。

1. 胸腔内圧の低下
2. 右心房内圧の上昇
3. 静脈還流量の減少
4. 迷走神経活動の亢進

あ 26-29 健康成人の肺気量で最も多いのはどれか。

1. 死腔量
2. 残気量
3. 予備吸気量
4. 1 回換気量

あ 26-30 産熱に関与しないのはどれか。

1. 基礎代謝
2. ふるえ
3. 不感蒸散
4. 黄体ホルモン

あ 26-31 蓄尿時に興奮が抑制されるのはどれか。

1. 膀胱平滑筋
2. 尿道括約筋
3. 骨盤神経求心路
4. 陰部神経遠心路

あ 26-32 副甲状腺から分泌されるのはどれか。

1. パラソルモン
2. カルシトニン
3. ソマトスタチン
4. サイロキシン

あ 26-33 卵巣について正しいのはどれか。

1. 卵胞刺激ホルモンを分泌する。
2. プロラクチンを分泌する。
3. 子宮に直接つながる。
4. 黄体を形成する。

あ 26-34 反射中枢が中脳にあるのはどれか。

1. 嚥下反射
2. 排尿反射
3. 伸張反射
4. 立ち直り反射

あ 26-35 損傷直後に片側の弛緩麻痺が起こるのはどれか。

1. 小　脳
2. 大脳基底核
3. 一次運動野
4. 補足運動野

あ 26-36 免疫について正しいのはどれか。

1. マクロファージは抗原を提示する。
2. ヘルパーT 細胞は補体を放出する。
3. 好中球は抗原を特異的に認識する。
4. サイトカインは抗原と特異的に結合する。

あ 26-37 ホルモン分泌の日内リズムで、夜間、睡眠時に最も高まるのはどれか。

1. アドレナリン
2. 成長ホルモン
3. コルチゾール
4. パラソルモン

（あマ指 26）病理学	38～44

あ 26-38 疾患の分類と疾患名の組合せで正しいのはどれか。

1. 遺伝性疾患 ――― アザラシ肢症
2. 局所性疾患 ――― 痛　風
3. 器質的疾患 ――― 大腸癌
4. 特発性疾患 ――― 帯状庖疹

あ 26-39 低出生体重児の定義は何 g 未満か。

1. 1,500g
2. 2,000g
3. 2,500g
4. 3,000g

あ 26-40 アポトーシスについて正しいのはどれか。

1. 細胞の病的な死である。
2. 個体発生時にみられる。
3. 周囲に炎症を起こす。
4. ヒトに特異的な現象である。

あ 26-41 梗塞の種類と罹患臓器の組合せで正しいのはどれか。

1. 出血性梗塞 ――― 心　臓
2. 出血性梗塞 ――― 腎　臓
3. 貧血性梗塞 ――― 肺
4. 貧血性梗塞 ――― 脾　臓

あ 26-42 膿に最も多くみられる白血球はどれか。

1. 好中球
2. リンパ球
3. 肥満細胞
4. マクロファージ

あ 26-43 バセドウ病のアレルギーの型はどれか。

1. Ⅰ 型
2. Ⅲ 型
3. Ⅳ 型
4. Ⅴ 型

あ 26-44 アスベストと関連があるのはどれか。

1. 肺　癌
2. 食道癌
3. 膀胱癌
4. 悪性リンパ腫

（あマ指 26）臨床医学総論	45～54

あ 26-45 筋緊張について正しいのはどれか。

1. 末梢神経障害で亢進する。
2. 錐体路障害では変わらない。
3. 錐体外路障害で鉛管様となる。
4. 小脳障害で弛緩する。

あ 26-46 虫垂炎の触診で圧痛を認めるのはどれか。

1. 右季肋部
2. 左季肋部
3. 右下腹部
4. 左側腹部

あ 26-47 四肢の計測について正しいのはどれか。

1. 上肢長は肩鎖関節から橈骨茎状突起を計測する。
2. 下肢長は上前腸骨棘から脛骨内果を計測する。
3. 上腕周径は最大径で計測する。
4. 大腿周径は最大径で計測する。

あ 26-48 ウイルスにより胸痛をきたす疾患はどれか。

1. 気　胸
2. 心筋梗塞
3. 肺血栓塞栓症
4. 帯状疱疹

あ 26-49 副腎皮質ホルモンの長期投与と関係ないのはどれか。

1. 胃潰瘍
2. 糖尿病
3. 精神症状
4. 仮面様顔貌

あ 26-50 健康成人のバイタルサインで異常値はどれか。

1. 脈拍 48 回/分
2. 体温 36.2℃
3. 血圧 110/60mmHg
4. 呼吸数 16 回/分

あ 26-51 血液生化学検査のうち炎症のマーカーはどれか。

1. LDH
2. 血小板数
3. 尿素窒素
4. CRP

あ 26-52 歩行異常と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 間欠破行 ―――――――― 多発性筋炎
2. 失調性歩行 ―――――――― バージャー病
3. 痙性歩行 ―――――――― 脳性麻痺
4. トレンデレンブルグ歩行 ―― 腓骨神経麻痺

あ 26-53 頸椎疾患の徒手検査法はどれか。

1. スパーリングテスト
2. ラセーグテスト
3. スピードテスト
4. モーレイテスト

あ 26-54 筋疾患の診断に有用な血液生化学検査項目はどれか。

1. トリグリセリド
2. クレアチンキナーゼ
3. アミラーゼ
4. アルカリホスファターゼ

（あマ指 26）臨床医学各論	55～79

あ 26-55 変形性関節症の単純エックス線所見で正しいのはどれか。

1. 骨の壊死像
2. 骨の粗鬆化
3. 骨嚢胞の形成
4. 関節裂隙の拡大

あ 26-56 骨腫瘍と好発時期の組合せで正しいのはどれか。

1. ユーイング肉腫 ――――― 老年期
2. 孤立性骨嚢腫 ――――― 壮年期
3. 多発性骨髄腫 ――――― 青年期
4. 骨肉腫 ――――――――― 成長期

あ 26-57 脊柱管狭窄を生じないのはどれか。

1. 黄色靭帯の肥厚
2. 椎間板の後方への膨隆
3. 椎間関節の肥大
4. 前縦靭帯の骨化

あ 26-58 坐骨神経痛の原因として最も多い椎間板ヘルニアの高位はどれか。

1. 第 10 胸椎 ――― 第 11 胸椎間
2. 第 12 胸椎 ――― 第 1 腰椎間
3. 第 2 腰椎 ――― 第 3 腰椎間
4. 第 4 腰椎 ――― 第 5 腰椎間

あ 26-59 肩関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 後方脱臼の頻度が高い。
2. 関節強直を起こすことが多い。
3. 合併症として腋窩神経損傷がある。
4. 再脱臼を起こすことはまれである。

あ 26-60 肺癌の治療で使用するのはどれか。

1. 抗菌薬
2. 分子標的薬
3. 気管支拡張薬
4. 抗アレルギー薬

あ 26-61 乳癌について正しいのはどれか。

1. マンモグラフイは推奨されている。
2. 血性分泌を伴うことが多い。
3. ホルモン非依存性が多い。
4. 乳輪付近の発生が多い。

あ 26-62 自然気胸について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 肥満は危険因子である。
3. ブラ・ブレブの破裂で起こることが多い。
4. 胸部エックス線検査での診断は困難である。

あ 26-63 細菌感染症はどれか。

1. 百日咳
2. 後天性免疫不全症候群
3. 風　疹
4. 流行性耳下腺炎

あ 26-64 COPD で最も特徴的なのはどれか。

1. 肺癌の合併は少ない。
2. 呼気が延長する。
3. 1 秒率は正常である。
4. 肺活量は低下する。

あ 26-65 1 型糖尿病について正しいのはどれか。

1. 中高年者に多い。
2. 罹患者数は 2 型糖尿病より少ない。
3. インスリンの分泌で亢進している。
4. 治療の第一選択は生活習慣の改善である。

あ 26-66 心筋梗塞について正しいのはどれか。

1. 無痛性心筋梗塞は糖尿病患者に多い。
2. 心筋梗塞に伴う胸痛は通常 5 分以内である。
3. 心電図で最初に出現する所見は異常 Q 波である。
4. 発症時白血球数は減少する。

あ 26-67 ビタミン K 欠乏によるのはどれか。

1. 口角炎
2. 精神症状
3. 骨軟化症
4. 鼻出血

あ 26-68 下剤の乱用が最も高頻度なのはどれか。

1. 摂食障害
2. 双極性障害
3. パニック障害
4. 夜驚症

あ 26-69 切除後にダンピング症候群をきたすのはどれか。

1. 食　道
2. 胃
3. 小　腸
4. 大　腸

あ 26-70 「22 歳の男性。腹痛と体重減少を主訴に来院。5、6 年前より時々腹痛がみられていた。腹痛は空腹時痛で食事摂取により改善する。」本疾患の腹痛が起こりやすいのはどれか。

1. 右季肋部
2. 心窩部
3. 右側腹部
4. 臍　部

あ 26-71 「22 歳の男性。腹痛と体重減少を主訴に来院。5、6 年前より時々腹痛がみられていた。腹痛は空腹時痛で食事摂取により改善する。」最も考えられる疾患はどれか。

1. 逆流性食道炎
2. 胃　癌
3. 胃潰瘍
4. 十二指腸潰瘍

あ 26-72 「60 歳の女性。主訴は黄疸。発熱と腹痛は認めない。貧血と間接ビリルビンの上昇が認められ、腹部超音波検査では脾腫と胆石を認めた。」
黄疸の診察部位として正しいのはどれか。

1. 眼瞼結膜
2. 眼球結膜
3. 口腔粘膜
4. 舌

あ 26-73 60 歳の女性。主訴は黄疸。発熱と腹痛は認めない。貧血と間接ビリルビンの上昇が認められ、腹部超音波検査では脾腫と胆石を認めた。」黄疸の原因として最も考えられるのはどれか。

1. 胆石嵌頓
2. 肝細胞破壊
3. 赤血球寿命短縮
4. 側副血行路形成

あ 26-74　「65 歳の男性。久しぶりに山歩きをした。その日は症状はなかったが、2 日後に下肢の筋肉に強い痛みが起こり来院した。」本症例の下肢の筋肉痛で最も適切なのはどれか。

1. 肉ばなれによる筋肉痛
2. 筋線維の損傷による筋肉痛
3. 下腿の虚血による筋肉痛
4. 筋膜の炎症による筋肉痛

あ 26-75　「65 歳の男性。久しぶりに山歩きをした。その日は症状はなかったが、2 日後に下肢の筋肉に強い痛みが起こり来院した。」本症例の筋肉痛に対する治療として患部にしてはならないのはどれか。

1. 電気療法
2. 冷　却
3. マッサージ
4. 筋力抵抗訓練

あ 26-76 膠原病と所見の組合せで正しいのはどれか。

1. 全身性硬化症 ―――――――― ソーセージ様手指
2. 全身性エリテマトーデス ――― 陰部潰瘍
3. ベーチェット病 ――――――― ヘリオトロープ疹
4. 皮膚筋炎 ――――――――― 蝶形紅斑

あ 26-77 アトピー性皮膚炎について正しいのはどれか。

1. 抗核抗体が陽性であることが多い。
2. 気管支喘息を合併することが多い。
3. 血清 IgG が高値であることが多い。
4. 主にⅡ型アレルギーが関与している。

あ 26-78 クッシング病について正しいのはどれか。

1. 低血圧となることが多い。
2. 下垂体腫瘍によって起きる。
3. コルチゾールの減少をきたす。
4. るいそうを呈することが多い。

あ 26-79 パーキンソン病でよくみられるのはどれか。

1. 反張膝
2. 分回し歩行
3. 小刻み歩行
4. 膝折れ

あ 26-80 機能的作業療法に含まれるのはどれか。
1. 職業訓練
2. 自助具作製
3. 関節可動域訓練
4. 日常生活動作訓練

あ 26-81 歩行補助具はどれか。
1. ロフストランド杖
2. 車椅子
3. 足底装具
4. 下肢装具

あ 26-82 第 6 頸髄節残存の頸髄損傷患者で可能な動作はどれか。
1. 車椅子への側方移乗
2. ノブ付き車椅子駆動
3. 両長下肢装具での歩行
4. 肘伸展によるプッシュアップ

あ 26-83 COPD 患者に対する呼吸訓練はどれか。
1. 体位変換法
2. 口すぼめ法
3. スクイージング
4. バイブレーション

あ 26-84 急性期リハビリテーションとして適切でないのはどれか。
1. 拘縮予防
2. 早期離床
3. 体位ドレナージ
4. 家事動作訓練

あ 26-85 変形性膝関節症患者に対する生活指導として誤っているのはどれか。
1. 杖の使用
2. 減　量
3. 階段昇降訓練
4. 筋力増強訓練

あ 26-86 膝蓋腱部で体重の大部分を支持する義足はどれか。
1. TSB 式下腿義足
2. PTB 式下腿義足
3. リスフラン義足
4. サイム義足

あ 26-87 回復期リハビリテーションで主に作業療法士が行う項目はどれか。

1. 摂食嚥下訓練
2. 実用的移動手段獲得
3. 床上動作訓練
4. 拘束運動療法(CI 療法)

あ 26-88 自律神経障害で生じる症状はどれか。

1. 皮膚の循環障害
2. 筋萎縮
3. 知覚脱失
4. 変　形

あ 26-89 脳卒中患者で積極的なリハビリテーションを行わないのはどれか。

1. 労作時に狭心発作がみられる場合
2. 安静時拡張期血圧が 110mmHg の場合
3. 下肢の浮腫がみられる場合
4. 安静時脈拍が 50 回/分の場合

あ 26-90 脳性麻痺で最も多い病型はどれか。

1. 失調型
2. 非緊張型
3. アテトーゼ型
4. 痙直型

（あマ指 26）東洋医学概論	91～101

あ 26-91 未病治の意味で最も適切なのはどれか。

1. 気の力により病気が自然に治っていくこと。
2. 病気の発症を予兆で知り予防すること。
3. 気のもちようで病気にならないこと。
4. 将来の病気を不安がること。

あ 26-92 五行色体で相生関係にある組合せはどれか。

1. 涙 ――― 香
2. 唇 ――― 涎
3. 鼻 ――― 寒
4. 恐 ――― 神

あ 26-93 五行色体の組合せで正しいのはどれか。

1. 辛 ――― 口
2. 焦 ――― 咳
3. 歌 ――― 宮
4. 唾 ――― 爪

あ 26-94 腠理の開闔を制御し、発汗を調整するのはどれか。

1. 元　気
2. 宗　気
3. 営　気
4. 衛　気

あ 26-95 血を脈外に漏らさないようにするのはどれか。

1. 気化作用
2. 固摂作用
3. 推動作用
4. 防御作用

あ 26-96 小腸の働きで正しいのはどれか。

1. 決断や勇気を主る。
2. 水穀の気を全身に巡らせる。
3. 糟粕を水分と固形分に分ける。
4. 水分を体外に排泄する。

あ 26-97 外因について正しいのはどれか。

1. 燥邪は脾を犯す。
2. 暑邪は肺を犯す。
3. 湿邪は関節の腫れを起こす。
4. 寒邪は素早く病を変化させる。

あ 26-98 病因について適切なのはどれか。

1. 飲食不節は脾を損傷しやすい。
2. 風邪は肺を損傷しやすい。
3. 房事過多は肝を損傷しやすい。
4. 湿邪は心を損傷しやすい。

あ 26-99 脾の運化作用の失調による症状で最も適切なのはどれか。

1. 胃下垂
2. 月経過多
3. 軟　便
4. 皮下出血

あ 26-100 朝起きたら下顎が腫れ、頚が回りにくくなった。この病証の経脈はどれか。

1. 胃　経
2. 大腸経
3. 小腸経
4. 三焦経

あ 26-101 虚労の際にみられる腹証はどれか。

1. 腹裏拘急
2. 少腹急結
3. 心下痞硬
4. 胸脇苦満

（あマ指 26）経絡経穴概論	102～107

あ 26-102 皮膚の知覚過敏を指標とする経穴現象はどれか。

1. 圧痛点
2. 撮診点
3. 丘疹点
4. 良導点

あ 26-103 経脈の接続部位で正しいのはどれか。

1. 脾経と心経の接続部位は心中である。
2. 肝経と肺経の接続部位は胸中である。
3. 三焦経と胆経の接続部位は中焦である。
4. 小腸経と膀胱経の接続部位は外眼角である。

あ 26-104 経脈と走行方向の組合せで正しいのはどれか。

1. 心包経 ――― 手指から体幹
2. 肺　経 ――― 手指から体幹
3. 胆　経 ――― 足指から体幹
4. 腎　経 ――― 足指から体幹

あ 26-105 臍の高さで腹部正中線の外方を走行する経脈のうち、正中から 3 番目はどれか。

1. 脾　経
2. 腎　経
3. 胃　経
4. 胆　経

あ 26-106 胆経の絡穴の取穴法について正しいのはどれか。

1. 外果尖の上方 8 寸で、前脛骨筋の外縁に取る。
2. 外果尖の上方 5 寸で、腓骨の前縁に取る。
3. 腓骨頭の前下部、長腓骨筋腱の前縁に取る。
4. 長指伸筋腱外側の陥凹部、外果尖の前下方に取る。

あ 26-107 同じ臓腑に属する経脈と募穴の組合せで正しいのはどれか。

1. 足の厥陰経 ――― 期　門
2. 足の太陰経 ――― 京　門
3. 足の少陰経 ――― 章　門
4. 足の太陽経 ――― 中　脘

あ 26-108 肩関節を 90 度外転したとき、肩峰の前の陥凹部に取るのはどれか。

1. 肩　井
2. 肩　髃
3. 肩　膠
4. 肩　貞

あ 26-109 足の経脈と絡穴が存在する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. 足の陽明経 ――― 長腓骨筋
2. 足の厥陰経 ――― 前脛骨筋
3. 足の太陰経 ――― 後脛骨筋
4. 足の太陽経 ――― 腓腹筋

あ 26-110 経穴とその部位を走行する神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 翳　風 ――― 三叉神経
2. 小　海 ――― 橈骨神経
3. 大　陵 ――― 正中神経
4. 委　中 ――― 坐骨神経

あ 26-111 肘頭と上腕骨内側上顆の間の陥凹部にある経穴はどれか。

1. 尺　沢
2. 曲　沢
3. 少　海
4. 小　海

（あマ指 26）東洋医学臨床論	112～140

あ 26-112 四診法で聖技に属するのはどれか。

1. 糞便の臭いを尋ねる。
2. 咳嗽の音を聴く。
3. 舌苔の色を視る。
4. 経脈上の皮膚の膨隆を触れる。

あ 26-113 次の文で示す患者の病証でみられるのはどれか。

「23 歳の女性。主訴は月経前の不安感。就職したばかりで、仕事にまだ慣れず緊張することが多い。
月経の 5 日ほど前になると情緒が不安定となり、胸部の張り感と頭痛を自覚する。」

1. げっぷ
2. しゃっくり
3. ため息
4. くしゃみ

あ 26-114 次の文で示す患者の病証に対する治療方針で最も適切なのはどれか。
「45 歳の女性。主訴は右耳の難聴。2 週間前に突然発症し、近医で突発性難聴と診断された。
耳閉感、胸苦しさ、頭重感を自覚する。舌質は紅、舌苔は黄膩、脈は滑数。」

1. 肝血を補う。
2. 腎陰を補う。
3. 風熱を除く。
4. 痰火を除く。

あ 26-115 次の文で示す患者の病証に対する治療方針で最も適切なのはどれか。
「53 歳の男性。職業は中華 料理の調理人。主訴は手足の重だるさと胃のつかえ。大便は泥状で
小便は色が濃い。舌質は紅、舌苔は黄膩、脈は濡数。」

1. 湿熱を除く。
2. 血熱を除く。
3. 心火を抑える。
4. 肝陽を抑える。

あ 26-116 次の文で示す患者の病証で施術対象となる部位はどれか。
「49 歳の女性。主訴は不眠。心配事が多く、寝つきが悪い。心悸、健忘があり、汗をかきやすく、
心窩部のしこりや軟便もみられる。舌質は淡、 舌苔は薄白、脈は細弱。」

1. 前腕前面外側と下腿後内側
2. 前腕前面内側と下腿内側
3. 前腕後面内側と下腿前面
4. 前腕後面外側と下腿後面

あ 26-117 次の文で示す患者の病証に対する治療穴として最も適切なのはどれか。
「38 歳の女性。主訴は頭痛。仕事が忙しくなりイライラしてくると頭頂部の痛みが生じる。
ひどくなると顔面が紅潮し、口の中が苦くなる。舌質は紅、脈は弦有力。」

1. 陽　池
2. 衝　陽
3. 京　骨
4. 太　衝

あ 26-118 グラスピングサイン陽性の患者で罹患筋を対象に経脈流注を考慮して施術を行う場合、
適切な経脈はどれか。

1. 足の太陰経
2. 足の少陰経
3. 足の太陽経
4. 足の少陽経

あ 26-119 次の文で示す患者の病証に対する治療穴として最も適切なのはどれか。
「25 歳の女性。主訴は食 欲不振。胃下垂気味で、雨降り前になると食欲低下、胃もたれが生じ
気分がすぐれなくなる。また立ちくらみを起こしやすい。」

1. 内　関
2. 外　関
3. 陽陵泉
4. 陰陵泉

あ 26-120 骨折の治癒促進を目的に行う物理療法で、ゲルを塗布し治療導子を患部に密着させながら、
ゆっくり移動する治療法はどれか。

1. 極超短波療法
2. 超音波療法
3. 低周波電気療法
4. 静電気療法

あ 26-121 SOAP について正しい組合せはどれか。

1. S ――――― 検査所見
2. O ――――― 自覚症状
3. A ――――― 病態の評価
4. P ――――― 治療効果

あ 26-122　高齢者に対して、立ったままの姿勢で 90 度前方挙上した上肢を、できる限り前方へ伸ばしていき、倒れないところで止めて、またもとの位置に戻す動作(ファンクショナルリーチテスト)を行わせて評価するのはどれか。

1. 脊柱のアライメント
2. 腰痛の有無
3. 肩関節の可動域
4. 立位動的バランス

あ 26-123 肩関節の腱板断裂の有無を判断するのに最も適切なのはどれか。

1. ドロップアームテスト
2. ヤーガソンテスト
3. 肩甲上腕リズム
4. インピンジメントテスト

あ 26-124 次の文で示す症例に対する徒手検査で陽性となる可能性が最も高いのはどれか。
「28 歳の女性。スマートフォンを母指で長時間操作していると、手関節橈骨側が痛くなる。」

1. アイヒホッフテスト
2. ティネル徴候
3. ファレンテスト
4. フローマン徴候

あ 26-125 次の文で示す症例について、施術対象となる障害高位で最も適切なのはどれか。

「21 歳の男性。ラグビー選手。スクラム中、左頚部を傷めた。左肩関節外転筋力低下、左上腕二頭筋反射減弱、左上腕外側の知覚鈍麻がみられた。」

1. C3-C4 間
2. C4-C5 間
3. C5-C6 間
4. C6-C7 間

あ 26-126 スポーツ障害と局所施術の対象となる筋の組合せで正しいのはどれか。

1. テニス肘 ―――――――――――― 短橈側手根伸筋
2. ジャンパー膝 ―――――――――― 大腿筋膜張筋
3. シンスプリント ――――――――― 腓腹筋
4. フリクションシンドローム ――― 前脛骨筋

あ 26-127 次の文で示す症例に対して局所施術を行う部位として最も適切なのはどれか。

「60 歳の女性。主 訴は左殿部から下肢後面の疼痛。長時間歩くと殿部から下肢後面にかけて痛みを自覚する。K・ボンネットテスト陽性、ラセーグテスト陰性、下肢の知覚異常はない。」

1. 下後腸骨棘と大転子頂点の中央部
2. 仙尾連結と大転子頂点の中央部
3. 尾骨先端と大転子頂点の中央部
4. 坐骨結節と大転子頂点の中央部

あ 26-128 スポーツ障害による下肢痛に対する施術において、治療対象となる筋・靭帯と経穴の組合せで正しいのはどれか。

1. 腸脛靭帯 ――――― 梁　丘
2. 膝蓋靭帯 ――――― 殷　門
3. 大腿二頭筋 ――― 光　明
4. 後脛骨筋 ――――― 三陰交

あ 26-129 徒手検査とそれが陽性となる罹患筋の作用との組合せで正しいのはどれか。

1. スピードテスト ――――― 前腕回外
2. トムゼンテスト ――――― 手関節掌屈
3. モーレイテスト ――――― 肩甲骨内転
4. リフトオフテスト ――――― 肩関節外旋

あ 26-130 腓腹筋けいれんがみられる患者に対する施術で、症状を再現するおそれが最も高いのはどれか。

1. 腓腹筋を持続的に圧迫する。
2. 足関節に牽引法を行う。
3. 腓腹筋にホットパックを行う。
4. 足関節を自動的に底屈させる。

あ26-131 第2・第3頚神経前枝に支配される領域の神経痛に対する局所治療穴として最も適切なのはどれか。

1. 百　会
2. 頭　維
3. 完　骨
4. 天　柱

あ26-132 トレンデレンブルグ歩行の患者に対し、施術する罹患筋の起始と停止の組合せで正しいのはどれか。

1. 腸骨窩 ―――― 小転子
2. 腸骨外面 ――― 大転子
3. 仙骨前面 ――― 大転子
4. 下前腸骨棘 ―― 脛骨粗面

あ26-133 「58歳の男性。3か月前に右頚肩部痛を自覚した。2か月前から前腕橈骨側、母指にかけて痛むようになった。近医にて頚椎症性神経根症と診断された。」本症例に行った身体診察でみられる可能性が最も高いのはどれか。

1. 母指対立筋の筋力低下
2. 上腕外側の触覚鈍麻
3. 腕橈骨筋反射減弱
4. ホフマン反射陽性

あ26-134 「58歳の男性。3か月前に右頚肩部痛を自覚した。2か月前から前腕橈骨側、母指にかけて痛むようになった。近医にて頚椎症性神経根症と診断された。」経脈の流注から施術対象として最も適切なのはどれか。

1. 手の陽明経
2. 手の太陽経
3. 手の厥陰経
4. 手の太陰経

あ26-135 「56歳の男性。主訴は右肩痛。患部には明確な炎症所見はないが、肩関節前方に痛みがあり、物を持ち、肘を曲げようとしたときに増強する。ヤーガソンテスト陽性、ダウバーンサイン陰性であった。」本症例で最も著明な圧痛を示す部位はどれか。

1. 腱板疎部
2. 烏口突起部
3. 上腕骨大結節部
4. 上腕骨結節間溝部

あ26-136 「56歳の男性。主訴は右肩痛。患部には明確な炎症所見はないが、肩関節前方に痛みがあり、物を持ち、肘を曲げようとしたときに増強する。ヤーガソンテスト陽性、ダウバーンサイン陰性であった。」本症例の治療で経脈へのアプローチを行う場合、最も適切なのはどれか。

1. 手の少陽経
2. 手の太陽経
3. 手の太陰経
4. 手の少陰経

あ 26-137　「24 歳の女性。主訴は便秘。3 年前から外勤となり、仕事の都合で便意を催しても我慢することが多くなった。」本症例の大腸の病態として最も考えられるのはどれか。

1. 蠕動運動が弱い。
2. 部分的なけいれんによる。
3. 感受性が低下している。
4. 大腸が長い。

あ 26-138　「24 歳の女性。主訴は便秘。3 年前から外勤となり、仕事の都合で便意を催しても我慢することが多くなった。」本症例の病態を考慮した生活指導として最も適切なのはどれか。

1. 食物繊維の多い食物を摂る。
2. 毎日決まった時間にトイレに行く。
3. 腹筋体操をする。
4. 食事量を減らす。

あ 26-139　「78 歳の女性。最近、物忘れと意欲の低下がみられたことから受診した。診察の結果、認知症と診断された。」認知症の中核症状はどれか。

1. 徘　徊
2. 抑うつ
3. 睡眠障害
4. 判断力の低下

あ 26-140　「78 歳の女性。最近、物忘れと意欲の低下がみられたことから受診した。診察の結果、認知症と診断された。」本症例の対応でしてはならないのはどれか。

1. 間違ったことをしたら注意する。
2. 本人の動作のペースに合わせる。
3. ゆっくりと話しかける。
4. 目線の高さを相手に合わせる。

（あマ指 26）あん摩マッサージ指圧理論	140～150

あ 26-141 古法按摩で歯痛に対する手技はどれか。

1. 頭維の術
2. 墨規矩の術
3. 鳴骨の術
4. 骨分の術

あ 26-142 冷え症に対し局所の温熱効果を期待して手掌で軽圧する場合、最も適切な手技はどれか。

1. 通常圧法
2. 衝圧法
3. 緩圧法
4. 持続圧法

あ 26-143 小殿筋への圧迫法で十分に力が伝わる股関節の他動的肢位はどれか。

1. 屈曲位
2. 伸展位
3. 外転位
4. 内転位

あ 26-144 徒手検査法で陽性の際、あん摩マッサージ指圧施術が最も適応となるのはどれか。

1. ドロップアームテスト
2. トムゼンテスト
3. ラックマンテスト
4. トンプソンテスト

あ 26-145 施術者の手指の感染防止で最も適切なのはどれか。

1. 手指に傷がある場合は指サックを装着する。
2. 手指にハンドクリームを塗る。
3. 手洗いの際にエアータオルを使用する。
4. ラビング法で用いる消毒薬は約１ｍｌである。

あ 26-146 圧迫法に反応する受容器で表皮に存在するのはどれか。

1. パチニ小体
2. マイスナー小体
3. メルケル盤
4. ルフィニ終末

あ 26-147 軽擦法の刺激の伝導に関与するのはどれか。

1. Ⅲ群線維
2. 内側毛帯
3. 脊髄灰白質中間質
4. 外側脊髄視床路

あ 26-148 次の文で示す治療的作用はどれか。

「膝蓋跳動陽性の患者に対し、大腿部への施術を継続したところ陰性になった。」

1. 興奮作用
2. 矯正作用
3. 誘導作用
4. 鎮静作用

あ 26-149 疼痛部位への軽擦法により賦活する鎮痛系の特徴はどれか。

1. 軽擦の向きに依存する。
2. 効果が出るまでに時間がかかる。
3. 全身性に効果が出現する。
4. 持続効果に乏しい。

あ 26-150　左鼻閉に対し、圧自律神経反射を利用して症状を改善しようとする場合、押圧する部位で最も効果があるのはどれか。

1. 左鼻根部
2. 右腋窩部
3. 左臀部側点
4. 右前脛骨筋部